

**横浜市港南区地区センター
指定管理者選定委員会（第2回委員会）議事録**

開催日時	令和3年8月16日（月） 9時00分から10時15分まで
開催場所	区役所 602 会議室
出席者	藤崎委員長、宮田委員、小川委員、小後摩委員、谷本委員（計5名）
傍聴者	なし
議題	はじめに（横浜市野庭地区センターの指定管理者の選定について） 1 面接審査 2 審議
面接審査 審議	1 面接審査 1 団体あたり、10分間のプレゼンテーション及び15分程度の質疑応答を行った。団体のプレゼンテーションの概要は次のとおり。 <応募団体 一般社団法人こうなん区民利用施設協会> ・日常のスタッフの配置については、安全・安心な体制を組み、緊急時の対応については港南区役所と連携して万全な体制を取っていく。 ・近隣に施設がないことや高齢化が進んでいることなど地域の特性を踏まえ、より地域に密着した事業を展開していく。 ・Web予約システムの改善、デジタルサイネージの活用、Wi-Fiの充実やSNSを活用した広報など利用者数増加、稼働率向上に向けた新たなサービスを展開する。 ・自主事業については、今後の時代の情勢を踏まえてSDGsの視点から企画していく。 ・新型コロナウイルス感染症対策として自動手指消毒器やサーモグラフィーを使用して利用者の検温を行う。また、職場でのクラスターを防ぐため、職員の休憩時に密を防ぐなど職員の感染予防についても徹底する。 2 審議 第4期横浜市野庭地区センターの指定管理者を選定するにあたり、第1回選定委員会で定めた評価基準項目に則り評価を行った結果、一般社団法人こうなん区民利用施設協会を指定候補者として選定した。 【委員意見】 ・自主事業について4つのテーマを掲げていることに好感が持てた。 ・地域特性を生かした施設運営が良いと思った。さらに地域住民の特性まで分析を行うことにより、地区センターを中心とした地域の活性化が期待できる。 ・職員を育成するため、多くの研修が実施されており、良いと思った。 ・スケールメリットを生かした運営を行っている点が良いと思った。 ・運営全般については特に問題はないが、将来性のある計画が不足しているように感じた。 ・地区センターに足を運んだことのない人たちへのアクションや工夫があまり見られなかった。 ・来場者が減っている理由が新型コロナウイルス感染症の影響だけなのか疑問が残った。
審議結果	・一般社団法人こうなん区民利用施設協会を横浜市野庭地区センター指定管理者の指定候補者とする（609点/825点）。

特記事項	特になし
------	------